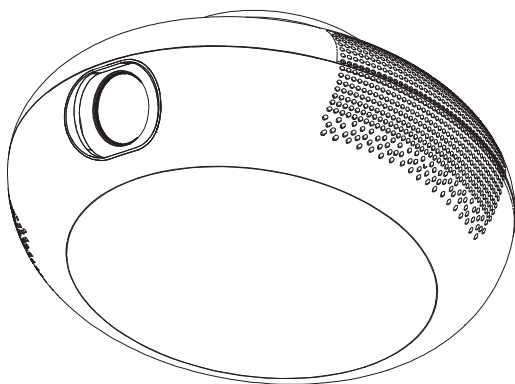


ルミシア・シーリング プロジェクター OP-5001W / AP-5001W / LP-5001W

取扱説明書



製品を安全に設置しお使いいただくために、
取扱説明書をよくお読みの上、
「取り付けかた」に従って施工してください。

※正しく設置されなかった場合などにより発生した、故障、
損傷、事故およびその他の障害について、当社はその責
任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

このたびは、当社製品をお買い上げいただき
まして、誠にありがとうございます。正しくご
使用いただくために必ずこの取扱説明書をよく
お読みください。なお、お読みになられたあと
もいつでも見られるように大切に保存してくだ
さい。

も く じ

安全上のご注意	P. 2～3
各部の名称とはたらき	P. 4
取り付けかた	P. 5～10
正しい使い方《照明》	P. 11
正しい使いかた《プロジェクター》	P. 12～16
お手入れのしかた	P. 17
使用上のご注意	P. 17
修理・サービスを依頼する前に	P. 18
ライセンス情報	P. 18
保証とアフターサービス	P. 19

仕 様

品 名	シーリングプロジェクター		
型 名	OP-5001W / AP-5001W / LP-5001W	プロジェクター部	
電 源	AC100V 50/60Hz	定格消費電力	180W (動作時)、0.9W (スタンバイ時)
外 形 寸 法	約φ460 mm × 厚み 198 mm	投影調整範囲	上下可動域：0～30cm(100インチサイズの時)
本 体 質 量	約7.2kg		台形補正：水平40度～垂直40度
照明部		投影可能サイズ	60～120インチ
定格消費電力	40W (100%点灯時)、1W (常夜灯点灯時)	解像度	1920 x 1080
機 能	調光 (1～100%)・調色 (2700～6500K)	明るさ	500 ANSI ルーメン
器 具 光 束	約3800lm (ルーメン) (100%点灯時)	アスペクト比	16：9
付 属 品	リモコン×1、リモコン用単4形乾電池 (お試用) ×2 取付金具×1 (本体取り付け済み)、配線器具固定ネジ ×2、スペーサー ×4 安全のしおり・製品保証書・クイックスタートガイド ×1 ※ スマートTVスティックは同梱されていません。 別途Amazon Fire TV StickなどのスマートTVスティックをご用意ください。	フォーカス	手動
		スピーカー出力	5W + 5W

- LED光源など部品の交換は出来ません。
- LED光源にはバラツキがあるため、同じ型名の商品であっても発光色、明るさが異なる場合がございますのでご了承ください。
- 仕様などは改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
- この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)
- 取扱説明書に使用されているイラストと実際の商品は一部異なる場合があります。

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。)

図記号の意味と例

	⊘は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示します。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。)

警告

 禁止	取り付けできない天井・取り付けできない配線器具には無理に取り付けない。 ●取り付けできない天井 ・凹凸のある天井(格子天井・船底天井・竿縁天井)・傾斜した天井 ・取り付け部のまわりに凹凸や極端な突出部がある天井・簡単にたわむ天井 取り付けられた場合でも火災・感電・落下してけがの原因になります。 ●取り付けできない配線器具 ・電源端子が露出しているもの・破損しているもの・取り付けが不十分でグラグラするもの ・ケースウェイに取り付けてあるもの・配線だけのもの ・出しろが22mm以上あるもの 火災・感電・落下してけがの原因になります。	
 禁止	電源は交流100V以外で使用しない。 火災・感電の原因になります。 本体のすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものを乗せたり、挟み込んだりしない。 火災・感電の原因になります。 室内専用なので、屋外では使用しない。 器具周囲温度5℃～35℃の範囲内で使用してください。 火災・感電の原因になります。 ストーブなど温度の高くなるものを本製品の近く・真下に置かない。 火災・故障の原因になります。	 指示 取り付けや取りはずし、お手入れをするときは、必ず電源を切る。 感電・けがの原因になります。 引掛けシーリングは奥までしっかり差し込む。 感電・ショート・発火・落下の原因になります。 調光機能のついた電源(壁スイッチなど)は使用することができないので、電気工事士資格取得者に交換工事を依頼する。 火災・故障の原因になります。 工事は販売店・工事店などに相談してください。 引掛けシーリングの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合はふきとる。 ホコリが付着したまま引掛けシーリングを差し込むと、ショート・火災の原因になります。 お手入れ後、取付金具をしっかりと固定する。 締め付けが不十分だったり、正しく取り付けられていないと、けが・故障の原因になります。
 使用禁止	異常時(こげ臭い、発煙など)は電源を切り、使用しない。 火災・感電の原因になります。	 分解禁止 分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。 火災・感電・けがの原因になります。 修理は販売店またはドウシシャ福井カスタマーセンターにご相談ください。
 ぬれ手禁止	ぬれた手で、取り付け作業や取りはずし作業をしない。 感電の原因になります。	 水ぬれ禁止 本体を水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。防水仕様にはなっていないため、浴室など湿気の多い場所や、常時温度が高い場所への設置はしない。 ショート・火災・感電の原因になります。

注意

 禁止	点灯中や消灯直後は熱くなっているため器具に触れない。 やけどの原因になることがあります。	 指示	取付金具は確実に取り付ける。 落下してけがの原因になります。
	本製品の一部分が破損した場合そのまま使用を続けない。 また破損した部分に直接触れたりしない。 けが・やけど、落下の原因になることがあります。		ワイヤーはフックを確実に取り付ける。 落下してけがの原因になります。
	ものをぶつけたり、衝撃をあたえない。 本製品の落下による、けが・やけどの原因になります。		本体は、取付金具に確実に固定してから使用する。 破損・故障・異音などの原因になることがあります。
	LED光源を直視しない。レンズをのぞき込まない。 目に悪影響を及ぼす原因になります。		天井の材質によっては、変色・変形することがあるので十分注意する。 光を発し、熱も持つ機器のため、変色・変形の原因になります。
	ラジオやテレビなどの音響機器・映像機器を近くで使用しない。 雑音の原因になることがあります。使用する場合はできるだけ離して使用するようになしてください。		設置して長期間使用すると、外部に異常がなくても内部の劣化は進行するので、点検する。 点検せずに使用を続けると、火災、落下による感電、けがの原因になります。
	リモコンの電池を交換するとき、新旧の乾電池を混ぜて使用しない。 故障の原因になります。		リモコンでスイッチを切ると、常時待機電力がかかっているため、長時間点灯しない場合は、電源(壁スイッチなど)を切る。 節電になります。
	付属の取付金具とリモコンは本製品専用のため他製品に使用しない。 故障の原因になります。		被照射物との距離は1m以上あける。 色あせ、変色の原因になります。
	次のようなところでは使わない。 ●レンジなど炎の近く ●引火性のガスがあるところ ●雨や水しぶきがかかる場所 変色・変形・炎の立ち消え・火災・感電の原因になることがあります。 お手入れの際は住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などを使わない。 変色・変形・感電・故障の原因になります。		

乾電池に関する安全上の注意

■電池の使い方を誤ると、電池が液漏れ、発熱、破裂したり、けがや機器故障の原因となるので、次のことを必ず守ってください。

警告

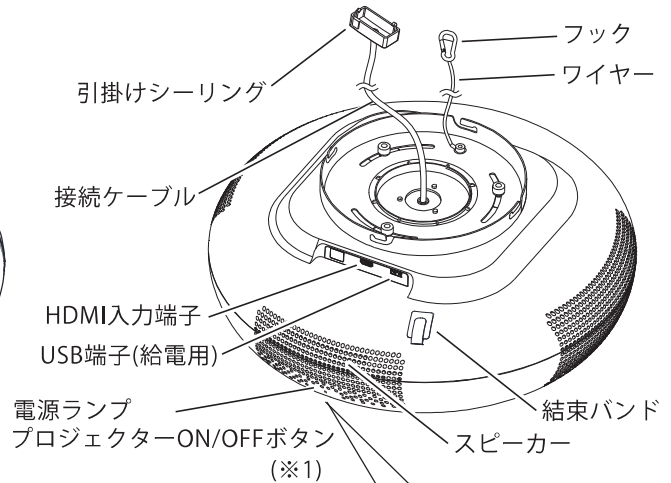
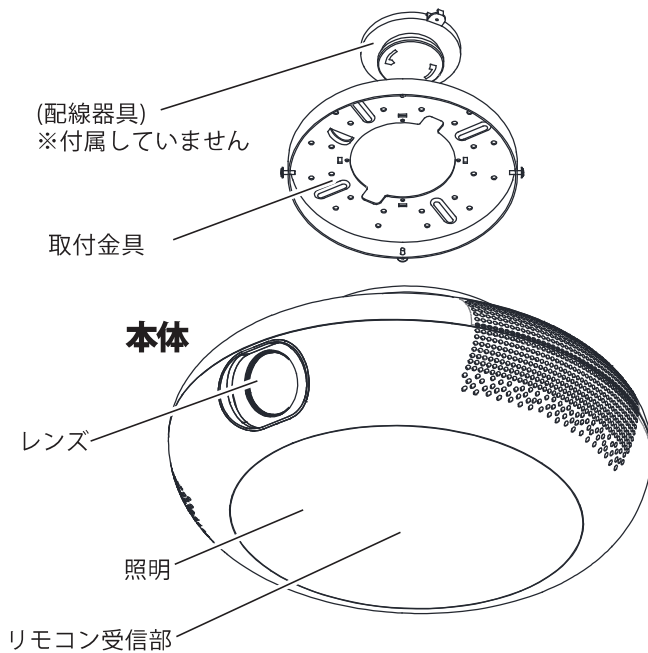
- 電池は乳幼児の手の届かない所に置いてください。万一、電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。
- 電池のアルカリ液が目に入ったときは失明など障害のおそれがありますので、すぐに多量のきれいな水で洗い流し、医師の治療を受けてください。
- 電池を火に入れたり、加熱、分解、改造などしないでください。
- 電池の(+) (-) を逆にして使用しないでください。
- 電池のアルカリ液が皮膚や衣服に付着した場合には、すぐに多量のきれいな水で洗い流してください。
- 電池を無理に押し込んで、ばねを押しつぶさないでください。

- 電池の(+) (-) を針金などで接続したり、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保存しないでください。
- 付属の電池は充電式に造られていません。充電すると液漏れ、発熱、破裂のおそれがあります。
- 使い切った電池はすぐ機器から取り出してください。
- 長期間機器を使用しない場合には、機器から電池を取り出してください。電池を入れたままにしておくで液漏れがあり危険です。

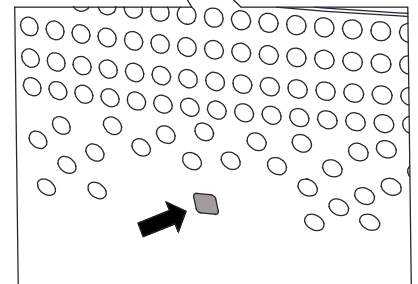
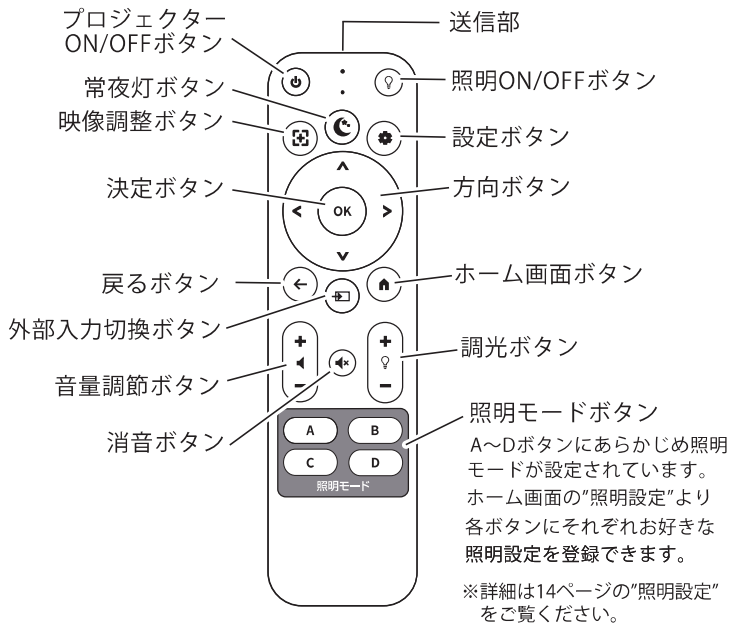
注意

- 電池を落下させたり、投げつけたりして強い衝撃を与えないでください。
- 電池の外装ラベルをはがしたり、傷つけないでください。
- 新しい電池と使用した電池や古い電池、銘柄や種類の異なる電池を混ぜて使用しないでください。
- ニッケル系乾電池(オキシライド乾電池など)は絶対に使用しないでください。
- 充電式(ニカド・ニッケル水素など)電池を使用しますと、機器が持っている性能を発揮できないことがあります。(機器が誤作動するなど)
- 電池の消耗により正常に作動しない場合があります。その際は新しい電池と交換してください。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使用してください。

各部の名称とはたらき



リモコン



(※1) プロジェクターON/OFFボタンは電源ランプを兼ねています

電源ランプはプロジェクターの状態を表示します

赤：プロジェクター電源 OFF
緑：プロジェクター電源 ON

取り付けかた

取り付け前の確認事項

1. 取り付ける天井の状態を確認する

- ・右図「取り付けることのできない天井」のような天井になっていないことを確認してください。



警告

- ・必ず2人で取り付ける。
- ・落下してけがの原因になります。
- ・明るい場所で取り付ける。

2. 取り付ける天井についている配線器具を確認する

配線器具が以下のようなものである場合は取り付けできません。

- ・取り付けできない配線器具
 - ・電源端子が露出しているもの
 - ・破損しているもの
 - ・取り付けが不十分でグラグラするもの
 - ・ケースウェイに取り付けてあるもの
 - ・配線だけのもの

取り付けられている配線器具が右図「取り付けることのできる配線器具」にあるか確認してください。

- ・天井に右図「取り付けることのできる配線器具」○取り付けられるような配線器具が設置されていれば、取り付けことができます。
- ×取り付けられない場合は使用できません。販売店・工事店にご相談ください。
- ・△天井にネジ留めで取り付けられるの場合は、天井に直接固定させるため、天井が補強されている必要があります(天井裏側に「はり」などがある状態)。

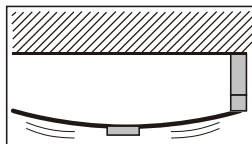
配線器具が設置されていない場合や、取り付けできない配線器具でも交換により取り付けできる場合がありますので、販売店・工事店にご相談ください。

3. 取り付ける電源(壁スイッチなど)に調光機能がないことを確認する

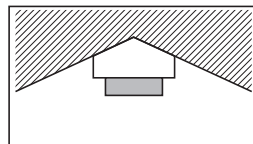
調光機能のついた電源(壁スイッチなど)の場合、使用できません。販売店・工事店にご相談ください。

※右のイラストのようなスイッチ以外でも、調光機能の付いたスイッチは使用できません。

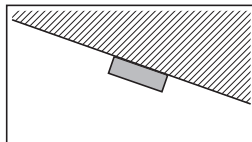
「取り付けることのできない天井」



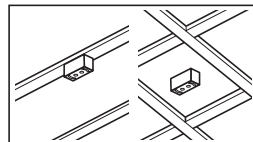
たわみ天井 補強のない天井



船底天井



傾斜した天井



竿縁天井 格子天井

「取り付けできない配線器具」× 取り付けられない



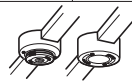
電源端子が露出しているもの



破損しているもの



取り付けが不十分でグラグラするもの



ケースウェイに取り付けてあるもの



配線だけのもの

「取り付けることのできる配線器具」



天井にネジ留めで
取り付けられる



丸型シーリング



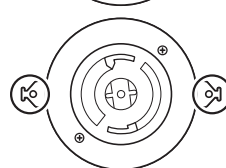
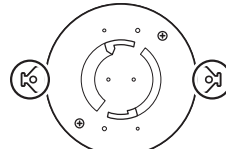
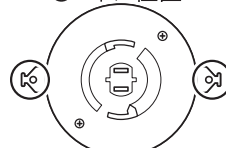
丸型シーリング



角型シーリング

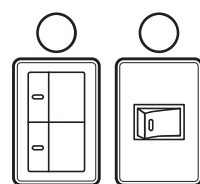
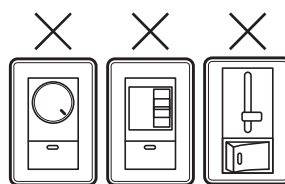


取り付けられる
○=ネジ位置



調光機能付

スイッチのみ

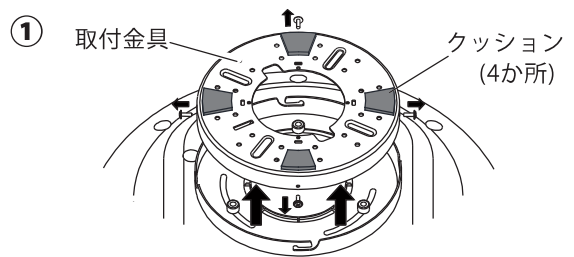


取り付けかた（つづき）

本体取り付けの準備

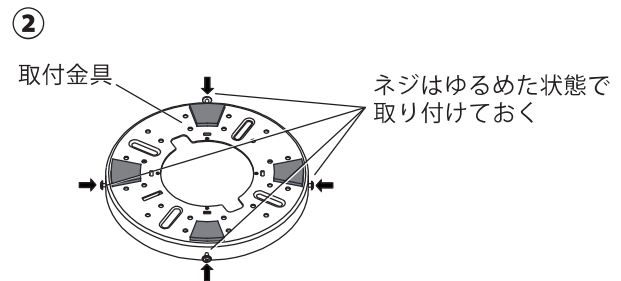
1. 取り付けられている取付金具を取りはずす①

取り付けられている4本のネジをはずして取りはずします。



2. 取りはずした取付金具に取りはずした4本のネジをゆるめた状態で取り付けておく②

ゆるめた状態で取り付けておくネジは、そこに引っかける形で本体を取り付けますので、本体を十分保持できるようにしておいてください。

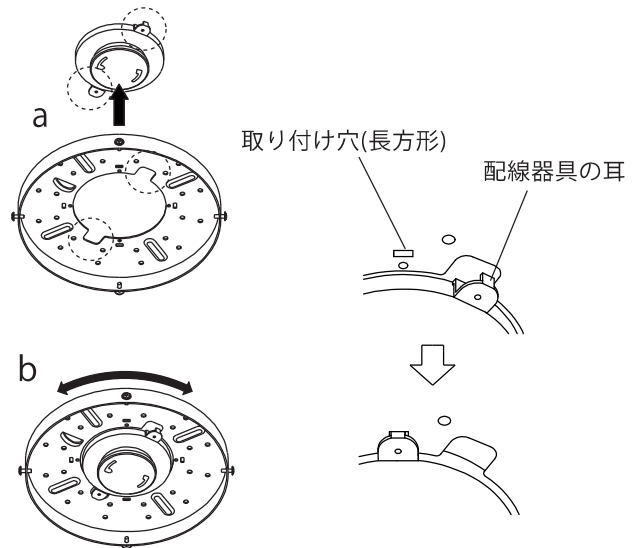


取付金具の取り付けかた

○取り付けられる配線器具の場合

1. 配線器具に取付金具をはめ込む

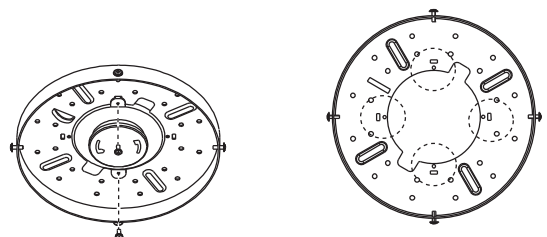
- 取付金具の凹部に配線器具の耳の位置を合わせて天井側に押し込みます。
- 取付金具を右又は左に回転させて取付金具の取り付け穴(長方形)に配線器具の耳を入れてください。
 - 取付金具の取り付け穴(長方形)は4か所ありますので対2箇所を選択して取り付けてください。
 - 取付金具を回転させる際、クッションの圧縮により回転が固くなっていますので破損にご注意ください。



2. 配線器具に取付金具を付属の配線器具固定ネジ2本を使って取り付ける



注意 配線器具固定ネジは2本とも、最後まで密着するまで締め付ける。



取り付けかた (つづき)

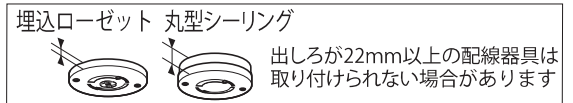
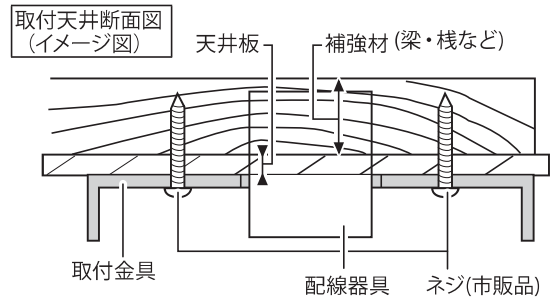
△天井にネジ留めで取り付けられる配線器具の場合

1. 配線器具の周辺は丈夫であるか、市販のネジが使用できるか確認する

天井面の十分強度のあるところ(補強材のあるところ)に確実に取り付けてください。(右図参照)

- ・ 配線器具の出しろが22mm以上ある場合、本体側が取り付けられない場合があります。その時は、販売店・工事店にご相談ください。
- ・ ネジは市販の木ネジ又は天井素材に合った市販のネジを使用してください。
推奨仕様：呼び径4mm x 長さ40mm x 頭径8.2mm

※配線器具の周辺に本体(約7kg)を維持できる補強材があるか確認してください



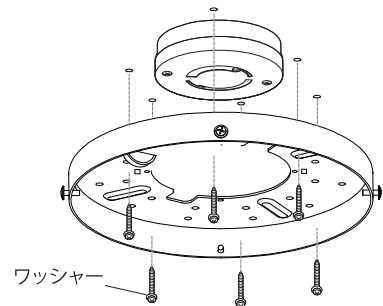
警告

梁(はり)や棧(さん)などの補強材がない場所、薄い天井には取り付けない。
落下の原因になります。

2. 配線器具を中心にして、取付金具を市販のネジ6本を使って取り付ける

配線器具を取付金具の中心の穴に通し、市販の木ネジまたは天井素材に合った市販のネジを使って天井に取り付けてください。

- ・ 木ネジまたは天井素材に合ったネジは必ず取付金具上の6つの穴を通してください。



※必ずワッシャーを入れてください

木ネジまたは天井素材に合ったネジ(市販品)

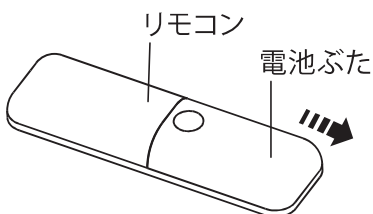


注意

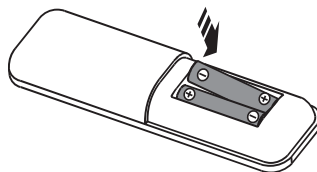
ネジは6本とも、最後まで密着するまで締め付ける。

リモコンの準備

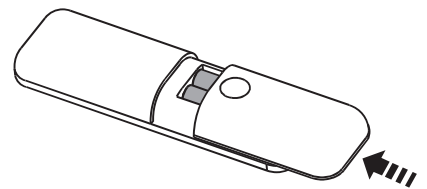
リモコン裏の電池ぶたを開く



⊕と⊖の向きに注意して、電池をいれる



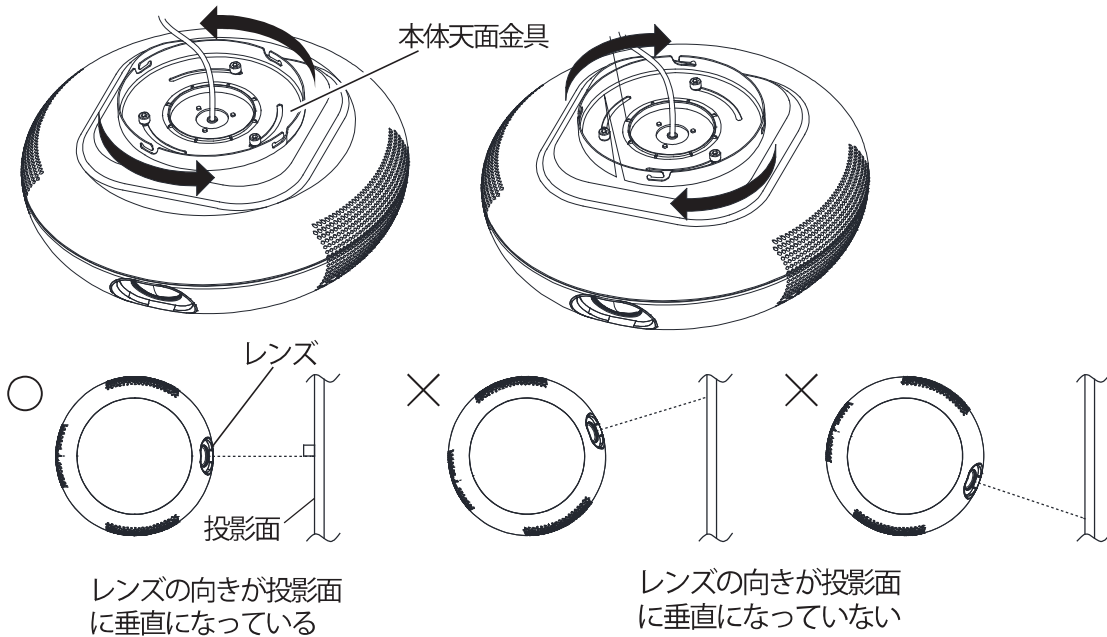
電池ぶたを閉める



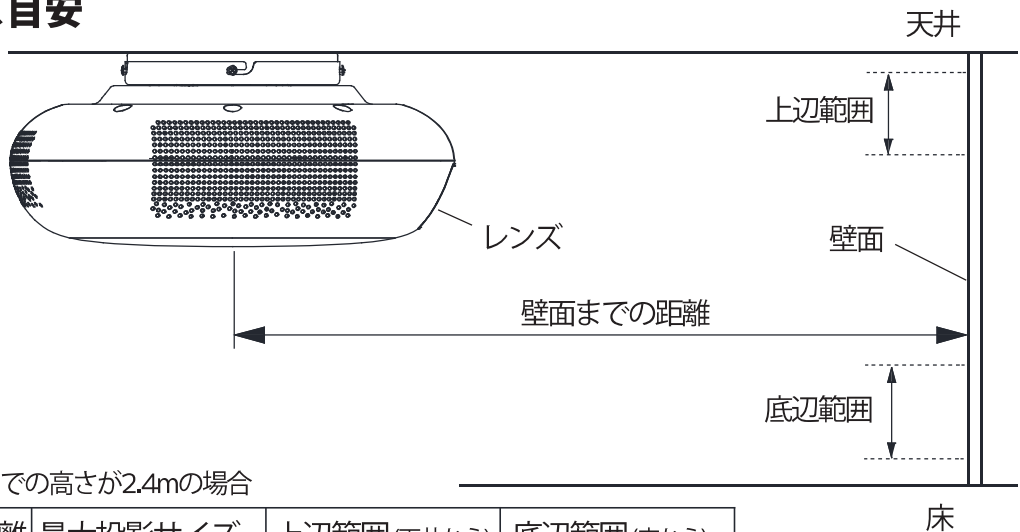
取り付けかた（つづき）

取り付け位置の調整

本体天面金具を右又は左に回転させ、取付金具に本体を取り付けた際にレンズの向きが投影面(壁面・スクリーン等)に垂直になるよう調整してください。



投影サイズ目安



※床から天井までの高さが2.4mの場合

壁面までの距離	最大投影サイズ	上辺範囲 (天井から)	底辺範囲 (床から)
144cm	60 インチ	32～64cm	75～133cm
164cm	70 インチ	35～72cm	52～118cm
184cm	80 インチ	38～81cm	28～102cm
204cm	90 インチ	42～88cm	47～86cm

(例) 壁面までの距離が150 cmの場合は最大62インチ (137x77cm) で投影可能

※記載されている数値は弊社で計測したデータをもとにした理論値になります。
使用状況やソフトウェアバージョンなどの条件により異なることがあります。

取り付けかた (つづき)

本体の取り付けかた



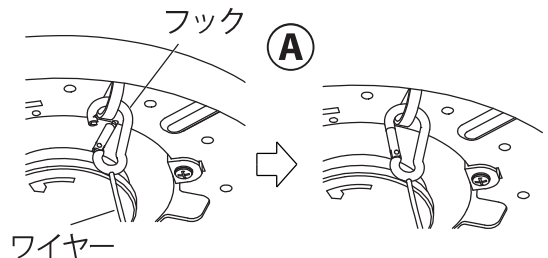
警告

- ・取り付けの際は安定した足場(脚立など)を使用する。
 - ・お客様ご自身で取り付ける場合は、重量物のため必ず2人以上で作業する。
 - ・明るい場所で取り付ける。
 - ・取り付けをするときや、お手入れをする時は電源を切にする。
- 感電・やけどの原因になります。

1. 電源(壁スイッチなど)を切にする

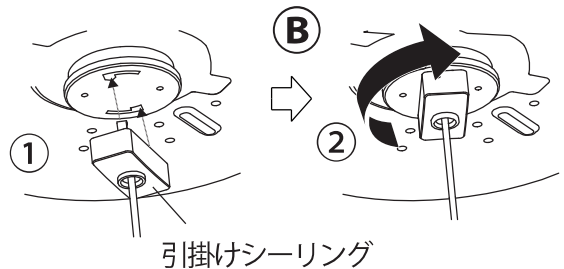
2. 天井の取付金具の輪になっている部分に本体のワイヤーを取り付ける^①

ワイヤーの先にあるフックを取付金具の輪になっている部分に取り付けます。



3. 配線器具に引掛けシーリングを取り付ける^②

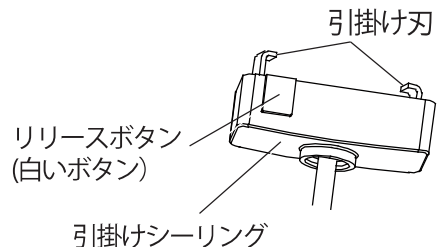
- ① 配線器具へ本体から出ている引掛けシーリングの2本の引掛け刃を挿し込みます。
 - ② 「カチッ」という音がするまで右に回します。ロックされてはずれなくなります。
- ・やりなおす場合、リリースボタン(白いボタン)を押すとロックが解除され、はずれるようになります。



注意

リリースボタン(白いボタン)を押さないで回してみても、はずれないことを確認する。

取り付けが不十分ですと、落下してけがの原因になります



4. 天井の取付金具に本体を取り付ける

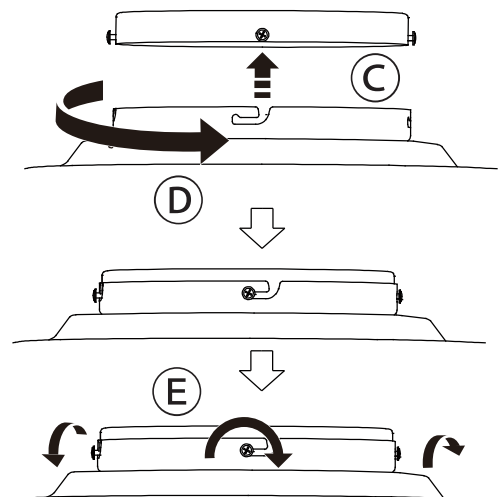


警告

本体取り付け時に、接続ケーブルを挟まないようにする。
感電・火災の原因になります。

- ① 取付金具のゆるめておいたネジ4本を、本体のミゾに差し込み^③、本体を右(時計回り)方向に最後まで回します^④。
 - ・ゆるめておいた4本のネジの状態によっては落下の危険がありますので十分にご注意ください。
 - ・接続ケーブルを本体中心部におさめるようにしてください。
- ② ゆるめてあったネジ4本を締め、確実に取り付けられたか確認してください^⑤。
 - ・本体が回転しない
 - ・本体がガタガタ・グラグラしない

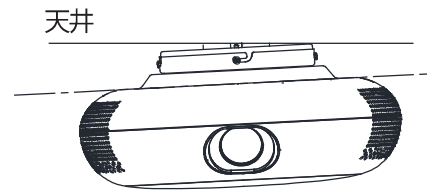
異常が認められましたら一度取りはずして、取り付け直してください。



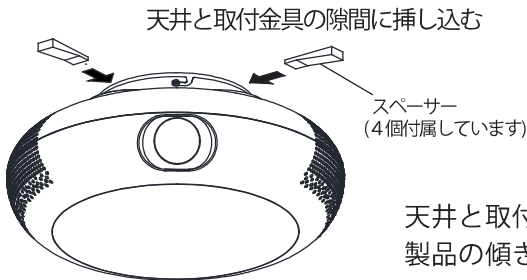
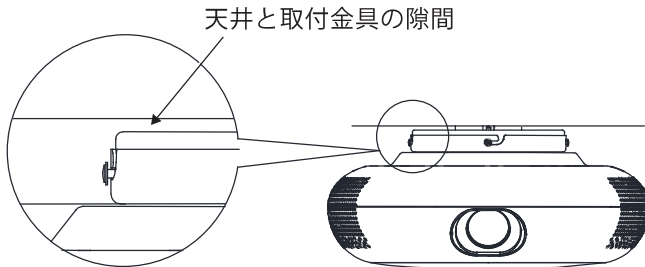
取り付けかた (つづき)

5. 製品の傾きを調整する

製品を天井に取り付けた状態で前後または左右に傾きが発生している場合、付属のスペーサーを必要に応じて取り付けてください。



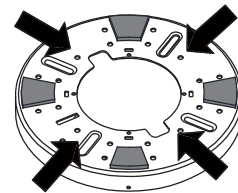
製品が傾いて取り付けしている状態



天井と取付金具の隙間にスペーサーを挿し込んで製品の傾きを調整してください。

※スペーサーは4個付属していますので、必要に応じて取り付けてください。

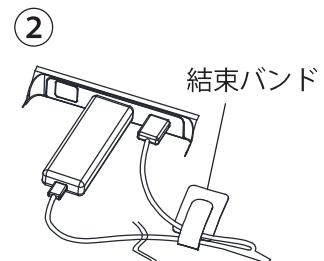
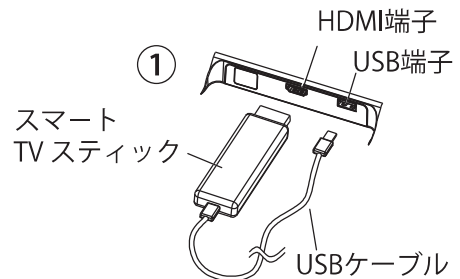
取付金具に最初から貼ってあるクッションを避けて挿し込んでください。



6. スマートTVスティックを取り付ける

- ① USBケーブルをTV Stickと本体のUSB端子に接続してから本体のHDMI端子に接続してください。
- ② USBケーブルを結束バンドでまとめてください。

※ スマートTVスティックは同梱されていません。
別途Amazon Fire TV StickなどのスマートTVスティックをご用意ください。



7. 本体の電源を入れる

- ・電源(壁スイッチなど)をONにすると、照明が点灯します。
- ・リモコンまたは本体のプロジェクターON/OFFボタンを押すとプロジェクターが起動します。

※電源(壁スイッチなど)をONにしただけではプロジェクターは起動しません。

正しい使い方《照明》

照明の点灯・消灯

1. 電源(壁スイッチなど)を入れる

正常に接続されていると、調光100%で点灯します。

点灯しない場合、接続に問題があることがあります。電源(壁スイッチなど)を切って、引掛けシーリングと配線器具との接続を目視で確認をしてください。

上記接続に問題がないことを確認してから電源(壁スイッチなど)を入れてください。

2. リモコンの調光ボタンを押して調光する

調光ボタンを押すと調光します。



+ボタンを押すことで、光が強くなります。



-ボタンを押すことで、光が弱くなります。

3. 常夜灯を点灯するときは、リモコンの常夜灯ボタンを押す



常夜灯ボタンを押すと全体の照明が消灯し、常夜灯が点灯します。

- 常夜灯を消灯させるには照明ON/OFFボタン又は常夜灯ボタンを押すか、電源(壁スイッチなど)を切ってください。

4. リモコンの照明モードボタンを押す

A～Dの各ボタンにはあらかじめ照明モードが設定されています。

- プロジェクターを作動させた際のホーム画面に表示される“照明設定”より各ボタンにそれぞれ好きな照明設定を登録できます。

※設定方法は14ページの“照明設定”をご覧ください。

5. 消灯する

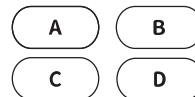
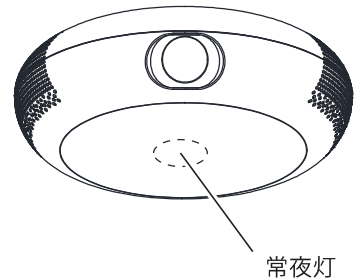
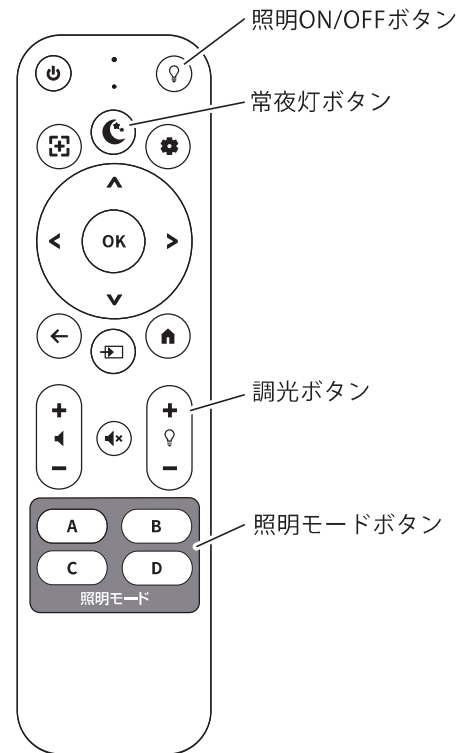
リモコンの照明ON/OFFボタン  を押す、または電源(壁スイッチなど)を切る。

・壁スイッチメモリー

壁スイッチで入・切する場合、リモコンの照明モードボタン“A”の設定内容で点灯します。

・リモコンメモリー

リモコンの照明ON/OFFボタンで切(OFF)にした最後の状態で点灯します。
(常夜灯はメモリーされません)



正しい使い方《プロジェクター》

プロジェクターは部屋を暗くしてご使用ください。

プロジェクターの電源を入れる

1. 電源をいれる

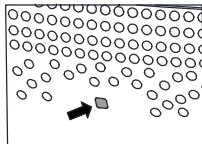
リモコン又は本体のプロジェクターON/OFFボタンを押す。

リモコン



又は

本体



を押す

※ 電源(壁スイッチなど)をONにしただけではプロジェクターは起動しません。

プロジェクター
ON/OFFボタン

映像調整ボタン

設定ボタン

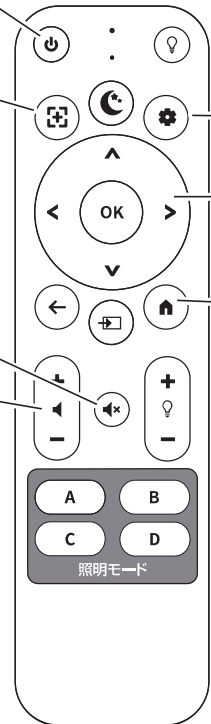
方向ボタン

ホーム画面
ボタン

消音ボタン

音量調節ボタン

外部入力で投影している
映像の音量を調節・消音
することができます。



初期設定を行う

プロジェクターの電源を入れると「Now Loading...」と表示されます。しばらくするとメニュー画面が表示されますので最初に映像を正しく投影するための設定を進めてください。

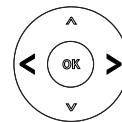


メニュー画面

1. フォーカスを調整する

リモコンの映像調整ボタン  を押してください。

画面に調整ダイヤルが表示されますので、リモコンの方向ボタン(左右)を押し、映像のピントが合うように調整してください。

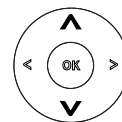


画面に表示される調整ダイヤル

2. 投影位置を調整する

リモコンの映像調整ボタン  を押してください。

画面に調整ダイヤルが表示されますので、リモコンの方向ボタン(上下)を押し、映像の投影位置を調整してください。



※調整ダイヤルは表示されてから3秒程度で画面から消えます。再度調整ダイヤルを表示させるにはもう一度映像調整ボタンを押してください。

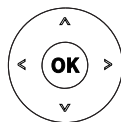
正しい使い方《プロジェクター》(つづき)

3. 映像の歪みを調整する

台形補正

リモコンのホーム画面ボタン  または設定ボタン  を押しメニュー画面を表示してください。

メニュー画面の「台形補正」アイコンを選択しリモコンの決定ボタンを押してください。



台形補正を選択



台形補正調整画面

画面の指示に従って、投影映像の歪みを調整してください。

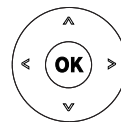
各種設定を行う

必要に応じて各種設定を行ってください

リモコンのホーム画面ボタン  または設定ボタン  を押しメニュー画面を表示してください。

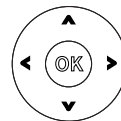
画像設定

メニュー画面の「画像設定」アイコンを選択しリモコンの決定ボタンを押してください。



画像設定を選択

リモコンの上下・左右ボタンを押し、各項目を必要に応じて選択してください。



表示モード

- 標準 : 標準的な明るさの画像をお楽しみいただけます。
- 高輝度 : 明るい画像をお楽しみいただけます。

※高輝度モードにすると、製品内部の冷却ファンの音が大きくなります。
又、照明が消灯します。(常夜灯のみON/OFF可能な状態となります)

表示方式

- 天井設置 : 本体を天井に設置した際に投影される表示です。(通常はこの設定)
- 反転表示 : 画像が上下反転して投影される表示です。

デジタルズーム

画像を1倍～6倍までズーム表示することができます。(初期設定は6)

正しい使い方《プロジェクター》(つづき)

照明設定

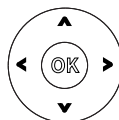
リモコンの照明モードボタンに、ご自身で設定した 照明設定を登録します。

メニュー画面の「照明設定」アイコンを選択しリモコンの決定ボタンを押してください。



照明設定を選択

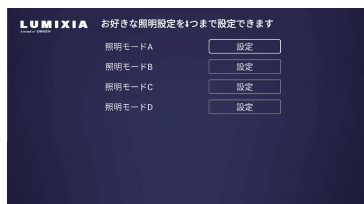
リモコンの上下・左右ボタンを押し、各項目を必要に応じて選択してください。



モード設定

例：照明モードAを設定する場合

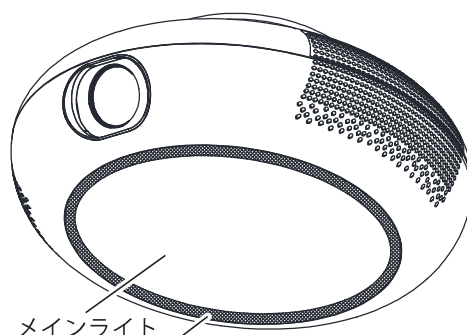
照明モードAの“設定”を選択して決定ボタンを押してください。設定画面が表示されます。



照明設定画面での各部の名称



照明設定画面



メインライト
常夜灯
(リング状に点灯)

※照明設定で設定する“常夜灯”とはリモコンの常夜灯ボタンでON/OFFする常夜灯(11ページ参照)ではありません。

メインライト

- 照明点灯 : メインライトの点灯・消灯が選択できます。
- 明るさ調整 : 照明の明るさを調整できます。
- 色温度 : 照明の色温度を調整できます。
- おすすめの照明設定 : あらかじめ設定済の照明設定(昼光色/電球色/昼白色)から選択できます。

常夜灯

- 照明点灯 : リング状の照明の点灯・消灯が選択できます。
- 明るさ調整 : リング状の照明の明るさを調整できます。
- 色温度 : リング状の照明の温度を調整できます。
- おすすめの照明設定 : あらかじめ設定済の照明設定(昼光色/電球色/昼白色)から選択できます。

設定後画面下部の“OK”を選択してリモコンの決定ボタンを押してください。
リモコンの照明モードAボタンに設定した照明設定が登録されます。

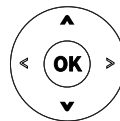
正しい使い方《プロジェクター》(つづき)

設定をリセット

モード設定で設定した照明設定をリセットします。

リモコンの方向ボタン(上下)を操作し画面のOKを選択後にリモコンの決定ボタンを押します。

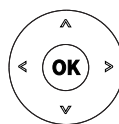
再起動後に照明設定はリセットされます。



その他

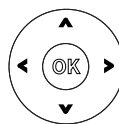
本機の情報を確認することができます。又、各種設定を変更することができます。

メニュー画面の「その他」アイコンを選択しリモコンの決定ボタンを押してください。



その他を選択

リモコンの上下・左右ボタンを押し、各項目を必要に応じて選択してください。



システム情報

ソフトウェアバージョン・シリアル番号などの情報を確認することができます。

リモコンの操作音

リモコン操作時の音を消すことができます。

電源接続後 プロジェクターを自動起動

電源(壁スイッチなど)をONにすると照明の点灯と同時にプロジェクターを起動することができます。

※初期状態では電源(壁スイッチなど)をONにすると照明が点灯しますが、プロジェクターは起動しません。

リセット

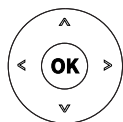
本製品を工場出荷時の状態にリセットします。
実行すると設定内容が初期化されますのでご注意ください。

正しい使い方《プロジェクター》(つづき)

外部入力

HDMI入力端子に接続したスマートTVスティックなどの映像を投影することができます。

メニュー画面の「外部入力」アイコンを選択しリモコンの決定ボタンを押してください。



外部入力を選択

外部入力の画像を投影する

1. 外部入力に切り替える

メニュー画面の外部入力を選択する。

又は、リモコンの外部入力切替ボタンを押す。



外部入力を選択

2. スマートTVスティックの操作を行う

スマートTVスティックが起動したら、画面表示に従い操作を行ってください。

※ Amazon Fire TV Stick のサポートについて

Amazon Fire TV Stickの操作方法やアフターサポートは、お買い上げいただいた販売店又は右記サポート窓口へ直接お問い合わせください。

(株式会社ドウシシャではサポートを行っておりません。予めご了承ください)



プロジェクターの電源を切る

- ・電源(壁スイッチなど)を押す。(照明・プロジェクター両方の電源が切れます)
- ・本体のプロジェクターON/OFFボタンを押す。(プロジェクターのみ電源が切れます)
- ・リモコンのプロジェクターON/OFFボタンを押すと、画面にメニューが表示されます。



画面表示メニュー

- 消画 : 画面は消えますがプロジェクターは動作しています
- 電源オフ : プロジェクターの電源をOFFにします
- 再起動 : プロジェクターを再起動します

お手入れのしかた



警告

お手入れの際は、安全のため電源を切り、通電していないことを確認する。
感電・火災・やけどの原因になります。

お手入れのしかた

- ・明るく安全に使用していただくため、定期的に(6か月に1回程度)清掃してください。
- ・汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよくしぼってふき取ります。乾いたやわらかい布で必ずふき取り、十分乾いてから使用を開始してください。
- ・リモコンの送信部も定期的にお手入れをおこない、汚れをふき取ってください。汚れるとリモコンの効きが悪くなります。



注意

- ・石けん水は必ずふき取る。
- ・本体の内部を濡らさない。
- ・シンナー・ベンジンなど揮発性のものや、みがき粉、洗剤、たわし・スポンジの固い面を使用してお手入れをおこなわない。
- ・殺虫剤などをかけたりしない。
破損・変色などの原因となります。

使用上のご注意

連続使用について

本機は24時間連続使用を前提とした設計ではありません。有寿命部品(アルミ電解コンデンサ)の消耗を加速させる原因となりますので、24時間連続でのご使用は避けてください。

廃棄について

廃棄するときは、お住いの自治体の指導に従ってください。

修理・サービスを依頼する前に

⚠警告 修理技術者以外の方は分解したり修理をしない。

「故障かな?」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
照明が点灯しない プロジェクターが動作しない	電源(壁スイッチなど)が「切(OFF)」になっている	電源(壁スイッチなど)を「入(ON)」にする
	ブレーカーが「切」になっている	ブレーカーを「入」にする
	引掛けシーリングと配線器具が確実に接続されていない	引掛けシーリングと配線器具を確実に接続する
リモコンが正常に動作しない	リモコンの電池が正しく取り付けられていない	リモコンの電池を正しく入れなおす
	リモコンの電池が切れて信号が送信されていない	リモコンの電池を新しいものにする
	本体のリモコン受信部に信号が届いていない	障害物を取り除く、もしくは受信可能な範囲から操作する
点灯中・消灯直後などに異音がする	使用環境により大電力を要する機器が同じ電源幹線に接続されていると、負荷変動で電源電圧が不安定になっている	問題ありません。気になる場合は株式会社ドウシシャ福井カスタマーセンターまで、ご相談ください

よくあるご質問

Q	停電復帰後に勝手に点灯してしまいます。
A	正常動作です。(壁のスイッチは「入」状態で、リモコンで「切」にしていた場合)通常の停電復帰後は、スイッチやリモコンを探す必要がないよう、照明が点灯した状態で復帰する設定になっています。点灯中に停電などで一定時間電源が切れた場合、直前の点灯状態で点灯します。
Q	停電復帰後、勝手に点灯しないようにできますか。
A	壁スイッチを「切」にしてください。照明器具側での設定の変更はできません。
Q	照明部又はプロジェクター部が故障しました。
A	どちらかが故障した場合は、ご使用を中止して販売店又は株式会社ドウシシャ福井カスタマーセンターにご相談ください。

長年ご使用の際はよく点検を

このような症状はありませんか？

- ・チカチカしたり点滅する。
- ・こげ臭い匂いがする。
- ・その他の異常・故障がある。



このような症状のときは、事故防止のため、すぐに電源を切り、使用を中止してください。製品の故障または寿命と考えられるため、交換をしてください。

ライセンス情報

“Amazon”、“Amazon Fire TV stick”はAmazon.com,Inc.またはその関連会社の登録商標です。

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、HDMIのトレードドレスおよびHDMIのロゴは、HDMI Licensing Administrator,Inc.の商標または登録商標です。

その他の商品名、サービス名、会社名またはロゴマークは、各社の商標、登録商標もしくは商号です。

保証とアフターサービス

●製品の保証について

1. この製品には保証書がついています。
保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。
2. 保証期間はご購入の日から1年間です。
保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
3. 保証期間後の修理は販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

●修理を依頼されるときは



警告

- ・故障のときは、ただちに使用をやめて配線器具から取りはずし、ご購入の販売店にこの製品をお持込みのうえ修理をお申しつけください。
- ・ご自分での修理はしないでください。たいへん危険です。

アフターサービスについてわからないことは…

ご購入の販売店、または株式会社ドウシシャ福井カスタマーセンターにお問い合わせください。

商品についてのご不明な点や故障・修理に関するご相談は

株式会社ドウシシャ 福井カスタマーセンター



電話

0778(24)2779



FAX

0778(24)2799



WEBからのお問い合わせ

<https://www.doshisha.co.jp/support/>



詳細については、取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご確認ください。

【営業日】平日(9:00~17:00) 【休業日】土日祝日、年末年始、弊社指定日

〒915-0801 福井県越前市家久町 41-1